

ふくしのひろは

令和7年
(2025)

6月号

No.160

赤い羽根共同募金×ギャラリー宏介株式会社
\\ 新たな「寄付つき商品」が誕生しました!! //



お知らせ

トピックス

- * 赤い羽根共同募金×ギャラリー宏介株式会社
寄付つき商品のご紹介 ~ゴリラのトートバッグ~ P 2
- * 令和7年度事業計画及び一般会計予算 P 3
- * **特集**「ふくしってなんだろう？」をみんなで考えよう
..... P 4~5
- * 貸出用レクリエーション用具が新しく増えました! P 7
- * 急募!! 移送サービス事業 運転ボランティア大募集!! ... P 8
- * 傾聴ボランティア「ロバの耳」主催
傾聴ボランティア養成講座を開催します! P 8

今月の表紙

ドラマや海外でも大注目!!

太宰府市在住の画家 太田 宏介さん

太田さんがデザインした、かわいいゴリラのトートバッグが新たな「寄付つき商品」となりました!

売上の一部が赤い羽根共同募金に寄付され、太宰府市内の地域福祉活動に役立てられます。(販売箇所や寄付つき商品についての詳細は2ページをご覧ください)



赤い羽根共同募金×ギャラリー宏介株式会社

「寄付つき商品」のご紹介 ～ゴリラのトートバッグ～

TBSドラマ「ライオンの隠れ家」でも話題となった太田宏介さんが描いたイラストのトートバッグです。

いきいき情報センター1階「太田宏介アトリエ館」と社会福祉協議会窓口で販売中！

売上げの5%が赤い羽根共同募金に寄付され、太宰府市内の地域福祉活動に役立てられます。今後、新商品も発売を予定しています。お楽しみに☆



2,800円(税込)
約37cm(縦)×35cm(横)×11cm(マチ)

「寄付つき商品」とは??

企業や店舗などが販売する商品やサービスを、地域住民が購入・利用することで、その売上げの一部が赤い羽根共同募金に寄付されるものです。

「寄付つき商品」販売にあたり、3月31日に覚書調印式を行いました。

社協法人化50周年記念企画でのオリジナルクリアファイル作成への協力や社協福祉まつりのステージイベントへの出演がきっかけとなり、今回のコラボにつながりました。

寄付つき商品
(募金百貨店
プロジェクト)
詳しくはコチラ→



左からギャラリー宏介株式会社 代表 太田信介さん、
画家 太田宏介さん、共同募金会 佐伯支会長

太田宏介さんご紹介



画家。太宰府市在住。11歳から本格的に絵を描き始める。下描きなしで描く大胆な構図、自由で独創的な色づかい、誰も目にしたことの無いその世界観は、国内を問わず、海外でも注目されています。

宏介さんは知的障がいに伴う重度の自閉症です。言葉では自分の想うことを表現するのが難しいのですが、絵画を通じて自分の想いを表現しています。固定概念にとらわれない作風に、多くの人が魅了されています。

ギャラリー宏介株式会社 代表 太田信介さんからのメッセージ

このたび太宰府市社会福祉協議会さんと「寄付つき商品」のコラボレーションをすることになりました。私たち兄弟は太宰府市長浦台で育ち、太宰府西小学校・中学校を卒業しました。以前から「私たちを育ててもらった地元太宰府に貢献したい」という強い気持ちを持っています。将来の目標は、太宰府に「太田宏介美術館」を建てて、後世に残る画家として名を残すことです。少しでも地元にご貢献したいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

いきいき情報センター1階「太田宏介アトリエ館」では絵画作品や最新グッズの販売をしています。ぜひお立ち寄りください。



ギャラリー宏介
公式ホームページ
詳しくはコチラ→



令和7年度 事業計画及び一般会計予算

基本方針



近年、少子高齢化に伴う人口減少や高齢世帯の増加、価値観の多様化などを背景に、地域社会のつながりや地域に対する関心の希薄化が問題になっています。

本会が目指す「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を実現するため、住民主体の理念に基づき、地域が抱えている種々の福祉課題を地域全体の問題として捉え、みんなで考え話し合い、活動を計画し、協力して解決する取り組みを進めます。

地域福祉活動計画の基本目標に沿った主な取り組み

1 養成と発掘 ～地域福祉の担い手づくり～

“一人ひとりを大切にする”福祉活動を推進していくため、その担い手となる地域リーダーの養成と発掘を進めます。

- 社会資源情報の把握
- 福祉教育の充実 など

2 交流と連携 ～多様な主体によるつながりづくり～

住民相互の交流を促進していくとともに、ボランティア、NPO 法人、当事者組織、社会福祉法人などの多様な主体との交流及び連携を進めます。

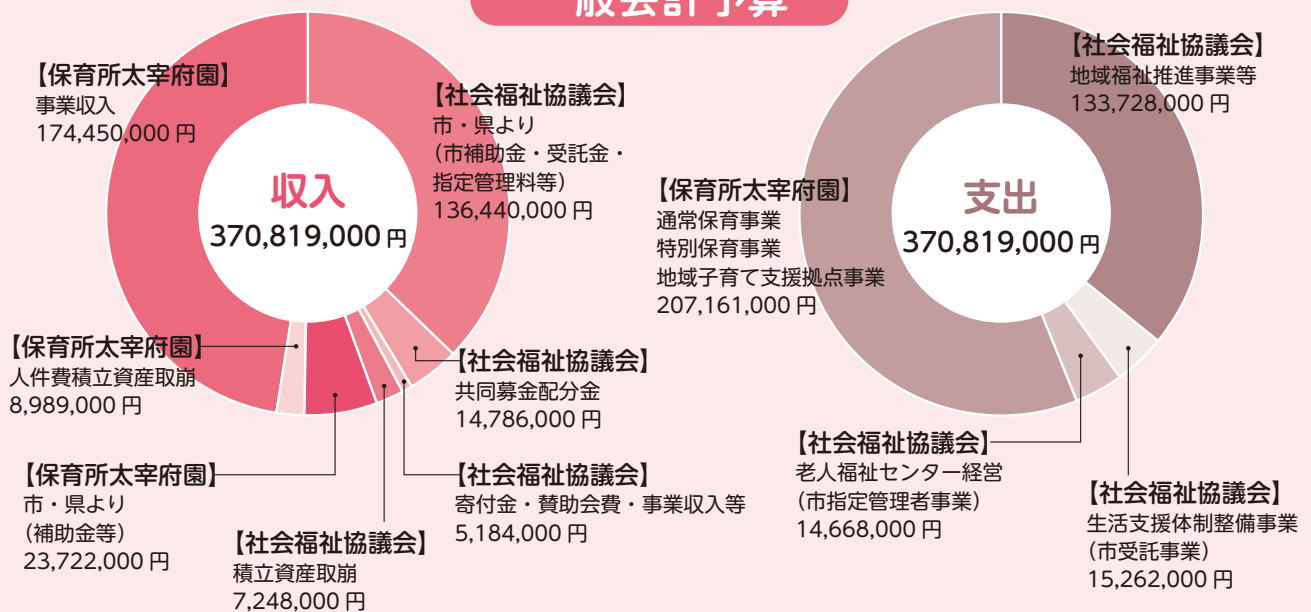
- 小地域福祉活動の推進
- 社会福祉法人連絡会の開催 など

3 発信と共有 ～困りごとを把握する仕組みづくり～

4 相談と解決 ～必要な支援を届ける仕組みづくり～

5 防災と行動 ～災害に備える体制づくり～

一般会計予算



※内部での繰入金・繰出金は除いています。



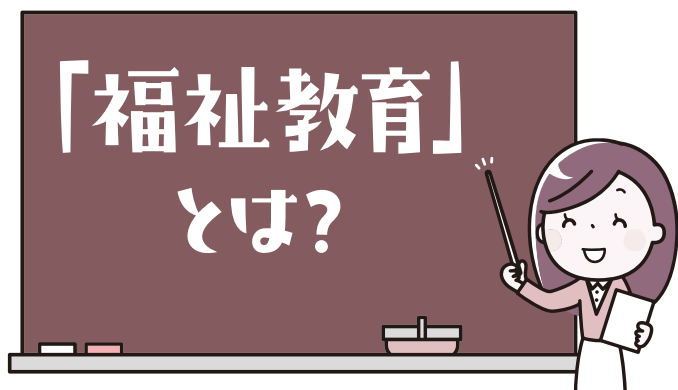
市民及び関係者の皆さまのご理解とご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

※「事業計画書」及び「一般会計予算書」は、社協窓口またはホームページにてご覧いただけます。

社協ホームページ



「ふくしってなんだろう？」 (小学校での福祉)



社協では地域のボランティアやゲストティーチャーに協力いただき、市内の小学校などで「ふくし(ふだんのくらしのしあわせ)」について一緒に考える福祉教育に取り組んでいます。

様々な世代や立場にある方との出会いや交流、体験を通してお互いを認め合う「ともにいきる」チカラを育み、自分に何ができるのかを一緒に考えていくことで「ふだんのくらしのしあわせ」の実現をめざしています。

学校の授業時間も活用した福祉教育 市内の7小学校で実施しているプログラムの一例をご紹介します

① はじまり(導入)

社協職員が学校へ出向き、子どもたちと「ふだんのくらしのしあわせ」や、「障がい」、「支え合いの中で生きていること」などについて一緒に考え、みんなで話し合います。



② 体験学習

ボランティア団体や福祉教育サポーターに協力いただき、様々な世代や立場の人の生活について学びます。
体験内容…車いす・手話・アイマスク・点字など。



点字学習



アイマスク体験

をみんなで考えよう！ 教育の取り組み)



各学校での
福祉教育の様子は
コチラ



③ 交流活動

ゲストティーチャーとの交流を行います。お話を聴いたり、質問したり質問されたりする中で、お互いの共通点や違いに気づき、地域でともに生きる一員として、自分に何ができるかをみんなで一緒に考えます。

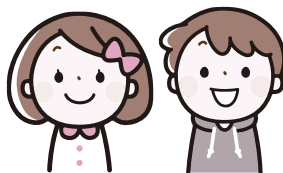


今泉さんのお話と点字紹介



和田さんのお話と車いすの実演

白杖を使って歩く時は点字ブロックがとても大切だから、その上に自転車を停めないようにしようと思う。



車いすに乗っている人は大変だと思っていけれど、専用の道具を使えば、スキーや自転車など、自分たちと同じようにスポーツもできるんだと思った。

④ 学びの共有・発信

学んだことを自分の中にとどめておくのではなく、感じたことや考えたことを学校や家庭、地域などで周りの人と共有します。互いを知り、認め合い、みんなにとってやさしい地域とは何かを考えることを通して“ふくしのこころ”を育みます。

太宰府東小学校

学習の振り返りとして「ふくし新聞」を作成



水城小学校

「人権まつり」でのステージ発表

ふくしのくらしの中のしあわせ！
一人ひとりちがうよね。
ちがって当たり前。ささえられたり
ささえたりして生活しているね。

一人ひとりが
周りのことを考えて、
優しい気持ちで行動
すれば、みんなの
しあわせにつながるね。

すべての出会いが
私たちにとっての大切な
学びになりました。



これまで学習したことを自分の生活の中で
心かいた、すべての人が幸せに生活すること
ができる町を目指して「気づくこと」「行動
にうつすこと」を大切にしていきたいです。



福祉教育は赤い羽根共同募金の配分金により実施されています。



2月26日

シニアのためのしごと・ボランティア相談セミナー

このセミナーは、就労や社会参加に意欲的な60歳以上の方々の支援を行うことを目的に開催され、社協の他、主催の福岡県生涯現役チャレンジセンター、福岡県高齢者能力活用センター、福岡県福祉人材センター、太宰府市シルバー人材センターが参加しました。

当日は社協のブースにも様々な相談があり、栄養士の資格を持つ方に“子ども食堂”に関する活動を紹介したり、子どもと関わりたいという方に、小学校などで車イスなどの体験学習をお手伝いする“福祉教育サポーター”を紹介するなど、新たなボランティア活動にお繋ぎする貴重な機会となりました。

この他社協には、福祉に関する活動を行っている方や、趣味・特技を生かした活動をされている方など、様々なボランティアの登録がありますので、「ボランティアをしてみたい!」または「ボランティアを探したい!」という方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。



ボランティア紹介
ページ



2月28日

子育てサロンスタッフ座談会

今回は社協に登録がある子育てサロンのボランティアスタッフが集まり、各サロンが実践している活動やスタッフの役割、保護者が息抜きできる環境づくりの工夫などについて意見交換が行われました。

今年から馬場区のサロンが新たに登録されました。

これまでは未就学児を対象とした子育てサロンが多い中、馬場区では小学生の学習支援も兼ねた居場所づくりを行っています。他のサロンとは違った取り組み報告を聞き、地域で育つ子どもたちにとって、年齢問わずいろいろな人と関われる場所が大事であることを実感しました。

また、悩みごとの相談を受け、経験をもとにアドバイスを行う場面や、想いに共感し合う場面もみられ、市内で同じ活動をする仲間同士での座談会は終始なごやかな雰囲気でした。

料理大好き
メンバーで食事提供を
しているよ

参加者を
増やすためには
どうしたらいい?

手作りおもちゃを作成
しているよ

出前保育の活用で
楽しんでいるよ



3月10日

第4回 福祉委員研修会

今回は、太宰府市の「孤独・孤立対策事業」の一環で、一般社団法人えのき舎代表理事 大山 和宏さんを講師に迎え、「精神障がいやひきこもりへの理解を深める」をテーマに研修を行いました。

精神障がいは、見た目では分かりづらく、また病状によって本人の状態が変わることもあるため、周囲からなかなか理解されにくい現状があります。また当事者の中には、社会経験を積む機会が少なく、他者との関係を築くことが苦手なため、結果的に引きこもりになってしまう方もおられます。このような場合、周囲の理解を得ながら、時間をかけてたくさんの経験を積むことで、本人の自信につながったり、前向きな気持ちになったりするそうです。

今回の研修で、障がいの有無に関わらず、ひとりの人間として相手を知り、寄り添うことが大切だということ、改めて学ぶ機会となりました。



講師の大山さん



寄付のお礼

令和7年2月26日
～令和7年5月13日

一般寄付

寄付者名 榊 恵美子 様
行政区 五条台区

ご寄付いただいた方については、感謝の気持ちを込めて本誌に掲載させていただきます。



賛助会員へのご加入ありがとうございます。

特別賛助会員(10,000円以上)にご加入いただいた方をご紹介します。

令和7年3月25日 ～ 令和7年4月24日

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| ● 赤峰 和子 様 | ● 株式会社 九州第一興商 様 |
| ● 岩城法律事務所 様 | ● 公益財団法人 古都大宰府保存協会 様 |
| ● 山下 智恵子 様 | ● 男性料理教室さつき会 様 |
| ● 有智山会 様 | ● 中央福岡ヤクルト販売 株式会社 様 |
| ● 樋口 軍時 様 | ● 有限会社 眞心 様 |
| ● 若男 澄子 様 | ● 社会福祉法人 宗恵会 星ヶ丘保育園 様 |
| ● 中塚 幹二 様 | ● 眞鍋建設 株式会社 様 |
| ● 有限会社 フルガード 様 | ● 太宰府市母子寡婦福祉会 様 |
| ● 太宰府市遺族連合会 様 | ● 株式会社 松幸工業 様 |
| ● 公益財団法人 太宰府メモリアルパーク 様 | |
| ● 福祉部グラウンドゴルフ梅香苑 様 | (順不同) |

令和7年度も新規の方、継続の方ともに随時受付をしておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

理事交代のお知らせ

新 任	前 任	選任区分
おおたに けん じ 大谷 賢治	かわたに ゆたか 川谷 豊	行 政
かわたに ゆたか 川谷 豊	もり き せい じ 森木 清二	識見を有する者(行政関係経験者)
くぼた まき こ 久保田 真紀子	ふじの やすよ 藤野 靖代	保育所太宰府園施設長

任期 自 令和7年5月12日
至 令和6年度の決算に
関する定時評議員会
終結の時

(敬称略、定款第18条及び定款施行細則第3条の規定による。)

貸出用レクリエーション用具が 新しく増えました!

小地域福祉活動(ひまわり会活動)や子育てサロン、自治会や福祉施設などが行う地域交流活動などにレクリエーション用具を無料で貸し出しています。

新たに、あらゆる年齢層で楽しめるニュースポーツ「ラダーゲッター」が加わりました。ひもでつながっている2個のボールをラダー(ハシゴ)に向かって投げ、引っ掛かったポイントを競うゲームです。

その他のレクリエーション用具については、ホームページにて写真付きで紹介しています。



利用を希望される方

事前にお電話でご予約をいただき、社会福祉協議会の窓口で申請書をご記入下さい。

※営利目的でのご利用はお断りしています。

※個人への貸し出しは行っておりませんので、ご了承ください。

貸出物品は
コチラ▶



お問い合わせ 太宰府市社会福祉協議会 総務係 TEL:923-3230

移送サービス事業

急募!!!

運転ボランティア大募集!!

社協では、障がいなどにより公共交通機関を利用することが困難な方々に対し、通院などの外出を支援する移送サービス事業の「運転ボランティア」を募集しています。

車の運転が好き！自分の空き時間に何かしたい！やりがいを見つけない！出会いを楽しみたい！というあなた！ぜひ運転ボランティアを始めてみませんか？

活動内容

リフト付き車両の運転(軽自動車タイプもあり)
※普通免許で運転可能
※活動を始める前に見学・研修あり

活動日時

月～土曜日 8:30～17:00
※活動可能な範囲、時間で調整させていただきますのでご相談ください(日・祝・年末年始の活動はありません)

活動の一例

15:00 社協からリフトカーで出発！
15:30 外出先で利用者さんを乗せ、ご自宅へ！
16:00 ご自宅へ到着。利用者さんを降ろして社協へ戻ります！
16:15 社協へ到着。活動終了です！

お問い合わせ 太宰府市社会福祉協議会 地域福祉係
TEL：923-3230 FAX：923-0578

社協だより「ふくしのひろば」アンケートにご協力ください！

「ふくしのひろば」を読んだことがある方から読んだことがない方まで、幅広く皆さんの声を募集しています。いただいたご意見は、今後の紙面作成や情報発信の参考にさせていただきますので、ぜひご協力をお願いします！簡単な質問に答えるだけ！スマホからお気軽に回答いただけます！

▲回答はコチラ

傾聴ボランティア「ロバの耳」主催
傾聴ボランティア養成講座を開催します！

「聴くこと」の大切さ、「聴き方」の技術を学びませんか？

日時 7月7日(月) 13:00～16:00
場所 太宰府市総合福祉センター 3階大会議室
対象 講座修了後に傾聴ボランティアとして活動する意欲のある方
定員 30名
受講料 無料 ※テキスト代500円(税込)は実費負担
講師 NPO法人 FFAフォロワーシップ協会
その他 ・6月2日(月)より受付開始
・駐車台数に限りがありますので公共交通機関の利用にご協力ください。

お申し込み・お問い合わせ

太宰府市社会福祉協議会
地域福祉係 TEL：923-3230

◀申込フォーム

ご利用ください！
無料相談窓口

場所 太宰府市総合福祉センター
1階相談室(太宰府市白川2番10号)

予約・お問い合わせ 太宰府市社会福祉協議会
TEL:923-3230

名称	日程	時間	内容	予約
行政相談	第1金曜日	10時～15時	国・県・市町村など行政に関する相談	不要
障がい者相談	第2木曜日	10時～12時	障がい者福祉に関する相談	不要
弁護士相談	第2火曜日 第4土曜日	13時～16時	法律に関する相談(相談時間30分)	要予約 (15日前から受付)
あんしん相談	第3木曜日	13時～16時	成年後見制度に関する相談(相談時間60分)	要予約 (随時受付)

※行政・弁護士相談以外はお電話での相談も可能です。 ※祝日の場合は中止とさせていただきます。